

桐生市本庁舎建設実施設計

新本庁舎建設工事の設計がまとまりました



設備や備品、色、材料などについては、今後変更する場合があります。

問い合わせ＝総務課庁舎建設準備室（☎内線221・559）

計画概要

- ・所在地 桐生市織姫町1番1号（現庁舎敷地内）
- ・規模 地上5階
- ・敷地面積 14,302.45平方メートル
- ・建築面積 3,477.69平方メートル
- ・延べ面積 12,274.85平方メートル（附属建築物含む）
- ・附属建築物 ごみ庫、倉庫
- ・構造形式 免震構造（基礎免震）
- ・構造種別 鉄骨造＋鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・駐車台数 245台（車いす用駐車場5台、おもいやり駐車場16台、EV充電用1台）
- ・駐輪台数 自転車30台、バイク10台

費用

概算事業費

建設資材などの物価上昇により、基本設計時（約90億円）から約7億5,000万円上昇しました。

項目	金額
調査・設計費用	約5億円
建築工事	約74億8,000万円
解体工事	約11億円
外構工事	約4億5,000万円
備品購入費用など	約2億2,000万円
合計	約97億5,000万円

※引越費用などは含んでいません。

財源

合併特例債は、返済時に、その返済額の70パーセントが地方交付税により措置されますので、元金分の今後の実質的な負担額は、約25億6,500万円を見込んでいます。

区分	事業費
庁舎整備基金	約12億円
地方債（合併特例債など）	約85億5,000万円
合計	約97億5,000万円

庁舎内のイメージ



▲1階 エントランス



▲1階 ロビー



▲窓口



▲吹き抜け

スケジュール

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
実施設計	1期工事			2期工事	
	議事堂・車両棟解体			新本庁舎へ移転	
	工事発注			新本庁舎供用	
	本庁舎建設（約22か月）			現本庁舎解体	
	議事堂仮移転			盛土・外構整備	
				エントランス底設置	

現行の桐生市史は、昭和33年に上巻を刊行、その後、中巻、下巻、別巻、昭和49年に新里村誌、平成9年に黒保根村誌をそれぞれ刊行し、上巻刊行から既に60年以上が経過しています。この間、市民生活を取り巻く環境は大きく変化し、地域の貴重な史資料が散逸する一方、新しい資料の発見に伴う新たな歴史像が明らかとなっています。

今、取り組みなければ失われてしまう地域の成り立ちや変遷を後世に伝えるため、今年度から「桐生市史」編さん事業をスタートしました。本事業は、調査研究を経て完結までに長期間かかりますが、多くの人に愛され活用される市史を目指して取り組んでまいります。

市民の皆様には、資料などの提供をはじめ、さまざまな面でご支援ご協力いただきますようお願いいたします。

桐生市長 荒木 恵司

「桐生市史」編さんを
スタートします

こんにちは
市長です